

現道の渋滞緩和や救急搬送に効果を発揮

・国道7号は秋田県南部沿岸地区で唯一の主要幹線道路であり、生活交通と通過交通の混在による渋滞が著しかったが、高速道路の開通により渋滞が大幅に緩和された。

・現道区間は信号交差点が多数あることからブレーキによる患者への身体的負担が大きかったが、高速道路の開通により救急告示病院への安定した救急搬送が可能となった。



日本海東北自動車道
(金浦IC～仁賀保IC～にかほ市両前寺)



開通後の日本海東北自動車道



●国道7号の交通量が約7割に減少

開通前	開通後
国道7号 : 17,480台/12時間 高速 : —	国道7号 : 12,190台/12時間 高速 : 6,680台/12時間

※午前7時～午後7時までの12時間交通量

●国道7号を利用する大型車の半数強が高速道路へ転換

開通前	開通後
国道7号 : 2,540台 (14.5%) /12時間 高速 : —	国道7号 : 1,240台 (10.2%) /12時間 高速 : 1,390台 (20.8%) /12時間

※パーセントは総交通量に対する大型車の割合

●国道7号(前田交差点)の渋滞長が大幅に緩和

開通前	開通後
朝ピーク : 1,700m (秋田方向) 夕ピーク : 1,500m (象潟方向)	朝ピーク : 150m (秋田方向) 夕ピーク : 190m (象潟方向)

※朝ピークは午前7～9時、夕ピークは午後5～7時

至酒田

至秋田

開通前の前田交差点(上)

開通後の前田交差点(右)

●救急搬送活動に貢献…総搬送件数の90%超^(※1)が開通区間を利用

※1 平成24年11月～25年3月の秋田市・由利本荘市内への全搬送件数:397件のうち日沿道利用:359件…90.4%

▼にかほ市から救急告示病院までの救急搬送ルート

